

地域学校協働連携NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

伊南川フィールドワーク ～ 南会津中学校 ～

8月29日(木)、南会津中学校1学年の伊南川フィールドワークを訪問しました。身近な自然環境の一つである伊南川での体験活動を通して、豊かな自然や地域のよさを味わうとともに、環境保全などの課題について考える機会にする目的で毎年実施されています。当日は川の学習体験交流センターで開会行事や着替えを済ませた後、バスで伊南川の会場へ移動し、体験活動を行いました。地域の方々が構成されている浜野地区活性化委員会(チーム浜野)インストラクターの方を講師に迎え、20名の生徒が様々な体験活動を通して伊南川の自然を満喫しました。



講師：チーム浜野の皆さん



「ラフティングはスポーツ」を頭に、力を合わせ急流に挑む生徒たち

川の学習体験 交流センター

伊南、浜野地区にあるこの施設内には、ウェットスーツやライフジャケット、ヘルメット等のラフティングを中心とする川遊び体験に必要な用具の他、水中を観察するための用具等が保管されていました。



ロープを使用した救出体験



川の横断は「斜め」が鉄則



川へのダイブ体験

川へのダイブは初めてでした。スリルがあって楽しかったです。地域の方が優しくいねいに教えてくださったので、分かりやすかったです。(中1 馬場君)

身近な自然がたくさんあるにも関わらず、そのよさをよく知らない生徒もいます。この活動は、地域の方から地元の自然のすばらしさだけでなく、川での注意点などを直に教えていただける貴重な機会であり、実体験を通して学べることも意義が大きいと思います。学校の職員だけでは実施は不可能であり、地域の方の協力がないとできない活動です。皆様のご協力により、毎年生徒は「楽しかった」とロクにするくらい楽しみにしている活動の一つです。(渡部校長先生)

「私が子供の頃の夏は朝から晩まで川で過ごしていました。この地域では、代々川遊びが子供たちの輪と地域のまとまりをつくってきました。その川遊びも様々な要因で禁止され、川から遠ざかっていました。私たちは子供たちにこの伊南川で川遊びをさせたい思いから15年前にチーム浜野を立ち上げました。今日は川遊びを通して、危険を感じ、楽しさを感じ、川の遊び方を学び、自然に感謝してください。」これはチーム浜野代表河原田さんの挨拶の一部です。

危険リスク回避から「川は危ない場所」という言葉で、どうしても子供たちを川から遠ざけ、体験を奪いがちです。今回の訪問から、楽しさや魅力だけでなくプールとは異なる川の力強さ・怖さを実体験を通じて体感し、川の遊び方を学ぶ、大切な学習になっていることを感じました。

